

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第2期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	日新製糖ホールディングス株式会社
【英訳名】	Nissin Sugar Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 樋口 洋一
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小網町14番1号
【電話番号】	03(3668)1293
【事務連絡者氏名】	財務総括責任者 川口 多津雄
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小網町14番1号
【電話番号】	03(3668)1293
【事務連絡者氏名】	財務総括責任者 川口 多津雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第1期 第3四半期 連結累計期間	第2期 第3四半期 連結累計期間	第1期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(百万円)	38,533	41,556	51,528
経常利益	(百万円)	2,398	2,690	2,761
四半期(当期)純利益	(百万円)	10,495	1,553	10,633
四半期包括利益または包括利益	(百万円)	10,535	1,673	10,820
純資産額	(百万円)	43,150	44,343	43,435
総資産額	(百万円)	52,937	54,004	53,334
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	1,849.51	211.09	1,753.55
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	81.1	82.1	81.0

回次		第1期 第3四半期 連結会計期間	第2期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	1,311.82	97.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第1期に負ののれん発生益8,904百万円を計上しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、各セグメントに係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(砂糖その他食品事業)

子会社朝日物産株式会社は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(その他)

子会社日新サービス株式会社は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当社は平成23年10月3日に設立されたため、前年同期比較において用いられる前期の連結経営成績は、日新製糖株式会社の前第3四半期累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）の連結業績と、新光製糖株式会社の前第3四半期会計期間（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）の連結業績を連結したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要等を背景に緩やかな改善の兆しが見られたものの、世界経済の減速により、本格的な回復には至りませんでした。

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり24.68セントで始まり、4月上旬に今期高値となる24.86セントまで上昇したものの、タイ・インドの増産から6月上旬には18.86セントまで下落しました。その後、最大生産国ブラジルの長雨による収穫遅れと米国中西部の熱波による穀物相場の高騰から投機資金が流入し、7月には24.00セントまで値を戻しましたが、これらの天候要因が一巡すると、12月中旬に今期安値となる18.31セントまで下落し、19.51セントにて当第3四半期を終了いたしました。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）は、上白糖1kg当たり185～186円で始まり、6月までの海外原糖相場下落を受け、7月下旬に182～183円に3円下落し、そのまま当第3四半期を終了いたしました。

このような状況のもと、砂糖その他食品事業においては、東北地方を中心に家庭用製品の出荷が依然として低調でしたが、業務用製品の出荷は堅調に推移し、これを補いました。その他の甘味料につきましては、果糖が飲料メーカー向けを中心に好調な出荷となりました。また、前年10月から連結に加えた新光製糖株式会社の業績が、当期を通過して寄与いたしました。その結果、売上高は38,904百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は2,301百万円（同26.3%増）となりました。

その他の事業の業績につきましては、概ね計画通り推移し、合計の売上高は2,651百万円（前年同期比34.4%減）、セグメント利益は219百万円（同15.3%減）となりました。

なお、砂糖その他食品事業の朝日物産株式会社およびその他の事業の日新サービス株式会社につきましては、当期より連結の範囲から除外しております。また、港湾運送事業において一部設備の除却を決定したことから、固定資産の減損損失187百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は41,556百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は2,538百万円（同22.3%増）、経常利益は2,690百万円（同12.1%増）となり、四半期純利益は1,553百万円（同85.2%減）となりました。なお、前第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益8,904百万円を計上しております。

#### (2)資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、54,004百万円となりました。うち、流動資産は24,902百万円であり、主な内容は有価証券10,662百万円であります。また、固定資産は29,102百万円であり、主な内容は投資有価証券13,455百万円、土地8,526百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、9,661百万円となりました。うち、流動負債は6,611百万円であり、固定負債は3,049百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、44,343百万円となりました。なお、自己資本比率は、82.1%となりました。

## (3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、67百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、従業員数は73人減少し、350人となっております。主な要因は、砂糖その他食品事業の朝日物産株式会社（前連結会計年度末従業員数49人）およびその他の事業の日新サービス株式会社（同3人）を連結の範囲から除外したことによるものです。

なお、従業員数は就業人員であります。

## (6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間における砂糖その他食品事業の生産実績は、25,800百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

これは、当社が平成23年10月3日に設立され、前年同期比較において用いられる前期の生産実績が、日新製糖株式会社の前第3四半期累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）の生産実績と、新光製糖株式会社の前第3四半期会計期間（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）の生産実績を連結したものであるためであります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,557,961	7,557,961	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	7,557,961	7,557,961		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		7,557,961		7,000		1,750

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 196,200		
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,306,800	73,068	
単元未満株式	普通株式 54,961		
発行済株式総数	7,557,961		
総株主の議決権		73,068	

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式10株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
日新製糖ホールディングス 株式会社	東京都中央区 日本橋小網町14 - 1	196,200		196,200	2.60
計		196,200		196,200	2.60

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。
- (2) 当社は、平成23年10月3日付で、日新製糖株式会社および新光製糖株式会社の経営統合に伴い、両社の純粋持株会社として設立されました。設立に際し、日新製糖株式会社を取得企業として企業結合会計を行っているため、前第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)の連結経営成績は、取得企業である日新製糖株式会社の前第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)の連結経営成績を基礎に、新光製糖株式会社の前第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)の連結経営成績を連結したものになります。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)および第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,811	2,438
受取手形及び売掛金	5,680	6,101
有価証券	8,302	10,662
商品及び製品	3,053	3,465
仕掛品	373	317
原材料及び貯蔵品	2,129	1,309
その他	700	608
貸倒引当金	1	2
流動資産合計	24,051	24,902
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,531	8,526
その他(純額)	5,640	5,219
有形固定資産合計	14,172	13,745
無形固定資産	286	306
投資その他の資産		
投資有価証券	13,131	13,455
その他	1,801	1,692
貸倒引当金	109	97
投資その他の資産合計	14,823	15,050
固定資産合計	29,283	29,102
資産合計	53,334	54,004



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,849	3,041
短期借入金	1,100	1,100
引当金	312	137
その他	2,565	2,331
流動負債合計	6,827	6,611
固定負債		
引当金	817	850
その他	2,254	2,199
固定負債合計	3,071	3,049
負債合計	9,899	9,661
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	22,593	23,595
自己株式	292	292
株主資本合計	41,321	42,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	170
繰延ヘッジ損益	25	26
土地再評価差額金	1,823	1,823
その他の包括利益累計額合計	1,900	2,020
少数株主持分	213	-
純資産合計	43,435	44,343
負債純資産合計	53,334	54,004

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【 四半期連結損益計算書】

## 【 第 3 四半期連結累計期間】

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	38,533	41,556
売上原価	31,338	33,501
売上総利益	7,194	8,055
販売費及び一般管理費	5,118	5,517
営業利益	2,076	2,538
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	29	29
持分法による投資利益	287	114
その他	20	21
営業外収益合計	345	179
営業外費用		
支払利息	9	8
その他	13	18
営業外費用合計	22	27
経常利益	2,398	2,690
特別利益		
固定資産売却益	-	6
負ののれん発生益	8,904	-
その他	43	-
特別利益合計	8,948	6
特別損失		
固定資産除却損	9	12
減損損失	-	187
投資有価証券評価損	9	10
ゴルフ会員権評価損	5	2
特別損失合計	23	212
税金等調整前四半期純利益	11,323	2,484
法人税等	827	930
少数株主損益調整前四半期純利益	10,495	1,553
少数株主損失 ( )	0	-
四半期純利益	10,495	1,553

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,495	1,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	116
繰延ヘッジ損益	11	1
土地再評価差額金	179	-
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	40	119
四半期包括利益	10,535	1,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,536	1,673
少数株主に係る四半期包括利益	0	-

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

## 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、朝日物産株式会社および日新サービス株式会社は、重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

## 【会計方針の変更】

## 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

## (減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 保証債務

連結会社以外の会社等の仕入債務および金融機関等からの借入債務に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
新東日本製糖㈱(借入債務)(注)	995百万円	新東日本製糖㈱(借入債務)(注)	894百万円
日新サービス㈱(仕入債務)	-	日新サービス㈱(仕入債務)	84
従業員住宅融資等 (借入債務)	3	従業員住宅融資等 (借入債務および仕入債務)	1
計	998	計	979

(注) 総額1,991百万円のうち、日新製糖株式会社による保証額であります。

(注) 総額1,788百万円のうち、日新製糖株式会社による保証額であります。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	492百万円	743百万円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 配当金支払額

当社は平成23年10月3日に株式移転により設立された共同持株会社であるため、配当金の支払額は取得企業である日新製糖㈱の定時株主総会において決議された金額であります。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	日新製糖㈱ 普通株式	297	6	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	441	60	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	砂糖その他 食品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,493	4,039	38,533		38,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	78	106	106	
計	34,521	4,118	38,639	106	38,533
セグメント利益	1,821	259	2,080	4	2,076

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康産業事業、冷蔵倉庫事業、港湾運送事業、合成樹脂等販売事業および不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額 4百万円には、受取経営管理料147百万円、全社費用 152百万円が含まれております。受取経営管理料は、砂糖その他食品事業の日新製糖株式会社および新光製糖株式会社が支払っており、全社費用は、主に当社の管理部門に係る経費ならびに役員報酬等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成23年10月3日付で、日新製糖株式会社および新光製糖株式会社の経営統合に伴い、両社の純粋持株会社として設立されました。これにより砂糖その他食品事業において、負ののれん8,904百万円が発生し、当第3四半期連結累計期間において「負ののれん発生益」を計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	砂糖その他 食品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	38,904	2,651	41,556		41,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98	1	99	99	
計	39,003	2,653	41,656	99	41,556
セグメント利益	2,301	219	2,520	17	2,538

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康産業事業、冷蔵倉庫事業、港湾運送事業および不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額17百万円には、受取経営管理料440百万円、全社費用 422百万円が含まれております。受取経営管理料は、砂糖その他食品事業の日新製糖株式会社および新光製糖株式会社が支払っており、全社費用は、主に当社の管理部門に係る経費ならびに役員報酬等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1,849円51銭	211円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	10,495	1,553
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	10,495	1,553
普通株式の期中平均株式数(百株)	56,748	73,618

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

日新製糖ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田村 保広 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	武内 清信 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林 一樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日新製糖ホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日新製糖ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。